

岩手県の三次救急医療体制の充実について

1 趣旨

岩手医大附属病院移転後の本県の救急医療体制の現状を踏まえ、県立中央病院を救命救急センターに指定し、三次救急医療体制の更なる充実を図るもの。

救命救急センター：国の救急医療対策事業実施要綱で規定する、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を 24 時間体制で受け入れる三次救急医療機関。

都道府県の医療計画等に基づき、知事が指定。

2 本県の三次救急医療体制

(1) これまでの経緯

- 昭和 55 年 11 月に岩手医大附属病院が「岩手県高次救急センター」として運営を開始。
- 平成 8 年 3 月に岩手医大附属病院（岩手県高次救急センター）が国から高度救命救急センターの認定を受けるとともに、平成 10 年に県立久慈病院と県立大船渡病院に救命救急センターを設置し、県内 3 センターでの三次救急医療体制を構築。
- 岩手県高次救急センターは、平成 13 年に「岩手県高度救命救急センター」に名称を変更。
- 平成 24 年 5 月に岩手医大を実施主体としてドクターヘリの運航を開始し、令和 3 年 11 月末までに計 3,654 回（1 日当たり 1.05 回）出動。
- 令和元年 9 月に岩手医大附属病院（岩手県高度救命救急センター）が盛岡市から矢巾町に移転。

(2) 県立中央病院が果たす役割

- 県立中央病院は、「24 時間 365 日、救急車の受け入れを断らない」という方針の下、盛岡二次保健医療圏内の救急車の約半数を受入れ、また、圏域外からの救急患者の受入れにも対応。年間約 21,000 人（うち救急車搬送約 7,000 人）の救急患者を受け入れている。

県立中央病院の救急患者数（県立中央病院調べ）（単位：人）

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
救急患者数 (総数)	20,876	21,225	21,091	20,988	16,790
救急患者数 (救急車来院)	6,357	6,953	7,400	7,155	6,746

【参考】県立久慈病院及び県立大船渡病院の救急患者数（県医療局調べ）（単位：人）

施設名	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
県立久慈病院	救急患者数 (総数)	9,891	9,541	9,099	8,869	6,556
	救急患者数 (救急車来院)	1,657	1,762	1,711	1,818	1,592
県立大船渡病院	救急患者数 (総数)	13,288	13,290	13,373	12,575	9,425
	救急患者数 (救急車来院)	2,683	2,717	2,751	2,503	2,428

- 岩手医大附属病院（岩手県高度救命救急センター）が県全体の高度救命救急医療機関としての役割も担う中で、県立中央病院も従来から他圏域からの搬送を受け入れて医療の提供を完結させるなど、三次救急と同様の役割を果たしてきた。
- 盛岡地区の二次救急病院における年間来院患者数の推移からは、盛岡地区の救急医療体制における県立中央病院の役割が増していることが見て取れる。

二次救急病院における年間来院患者数（土日祝日、時間外、夜間、深夜の患者数）

（単位：人）

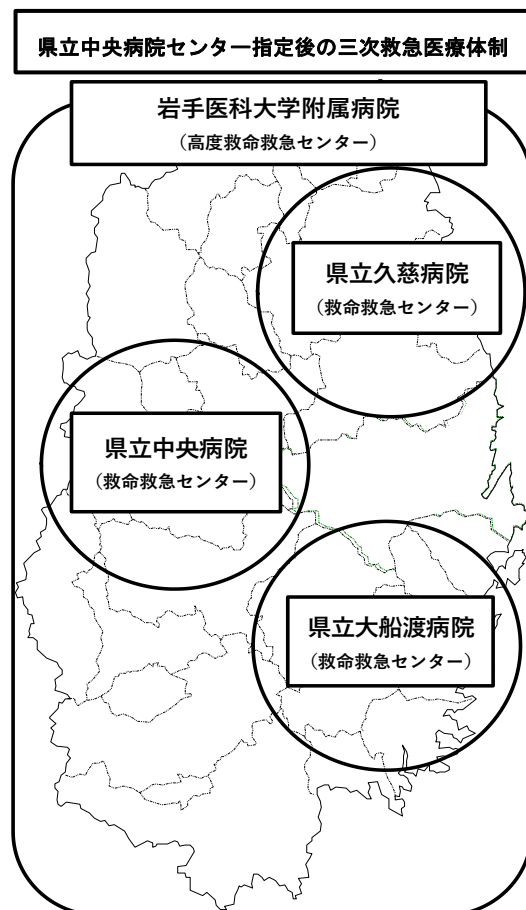
	2016年1月～12月		2017年1月～12月		2018年1月～12月		2019年1月～12月		2020年1月～12月	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
中央病院	17,323	31.7%	16,620	32.5%	17,764	34.9%	17,585	36.3%	14,838	42.4%
日赤病院	6,820	12.5%	6,517	12.7%	6,054	11.9%	5,767	11.9%	4,470	12.8%
市立病院	788	1.4%	881	1.7%	939	1.8%	1,659	3.4%	2,224	6.3%
遠山病院	374	0.7%	452	0.9%	313	0.6%	198	0.4%	169	0.5%
八角病院	2,594	4.7%	2,293	4.5%	2,199	4.3%	2,436	5.0%	1,869	5.3%
岩手医大	19,848	36.3%	18,491	36.2%	18,995	37.3%	15,636	32.3%	7,461	21.3%
高松病院	1,457	2.7%	1,185	2.3%	200	0.4%	160	0.3%	17	0.0%
栃内病院	589	1.1%	498	1.0%	511	1.0%	537	1.1%	709	2.0%
つなぎ温泉病院	551	1.0%	446	0.9%	563	1.1%	494	1.0%	426	1.2%
友愛病院	1,148	2.1%	850	1.7%	674	1.3%	853	1.8%	691	2.0%
川久保病院	2,518	4.6%	2,300	4.5%	2,078	4.1%	2,289	4.7%	1,070	3.1%
盛岡医療センター （国立盛岡病院）	638	1.2%	604	1.2%	647	1.3%	779	1.6%	1,091	3.1%
合計	54,648	100%	51,137	100%	50,937	100%	48,393	100%	35,035	100%

出典：盛岡地区救急医療体制のあゆみ

※高度救命救急センターに搬送した例はすべて三次救急とし、このデータには含まない

（3）本県の三次救急医療体制の充実

- 平成10年以降、県内3センターでの三次救急医療体制を敷いてきたが、平成24年のドクターヘリ運航開始以降、岩手医大附属病院はこれまで以上に県全域をカバーする高度救命救急医療機関としての役割を求められている。
- また、令和元年9月に岩手医大附属病院が矢巾町に移転したことにより、盛岡医療圏北部及び県北部の救急医療体制における県立中央病院の役割が増している。
- このことから、県立中央病院を救命救急センターに指定して救急患者の多い県央部における三次救急医療機関の役割の一翼を担わせ、県全域における高度救命救急医療機関でもある岩手医大附属病院との役割分担の下救急医療需要に対応することで、県全体の三次救急医療体制の更なる充実を図るもの。



- 具体的には、令和4年4月から県立中央病院を救命救急センターとして運営開始したうえで、次期岩手県保健医療計画における県の救急医療体制に位置付けることとしたい。

3 県立中央病院の救命救急センター指定について

(1) 指定の概要

県立中央病院を「救命救急センター」として指定する。

- ・ 運営開始予定年月日：令和4年4月1日
- ・ 専用病床数：10床

(2) 県立中央病院の体制

- 専任医師1名、兼任医師6名。循環器内科医、脳神経科医は24時間常駐、その他については全科オンコール体制で24時間対応可能な体制。
- 救急医療提供体制強化のため、ER病棟（10床）の整備及び救急センターの拡張、ハイブリッド手術室の整備を行い、令和3年度から運用開始。
- ドクターヘリヘリポート整備済。令和元年度から運用開始。
- 平成26年度の病院機能評価において「救命救急センターに相応しい実績を持つ」と評価されており、令和元年度には病院機能評価（高度・専門機能）救急医療・災害時の医療 Ver. 1.0 に認定。

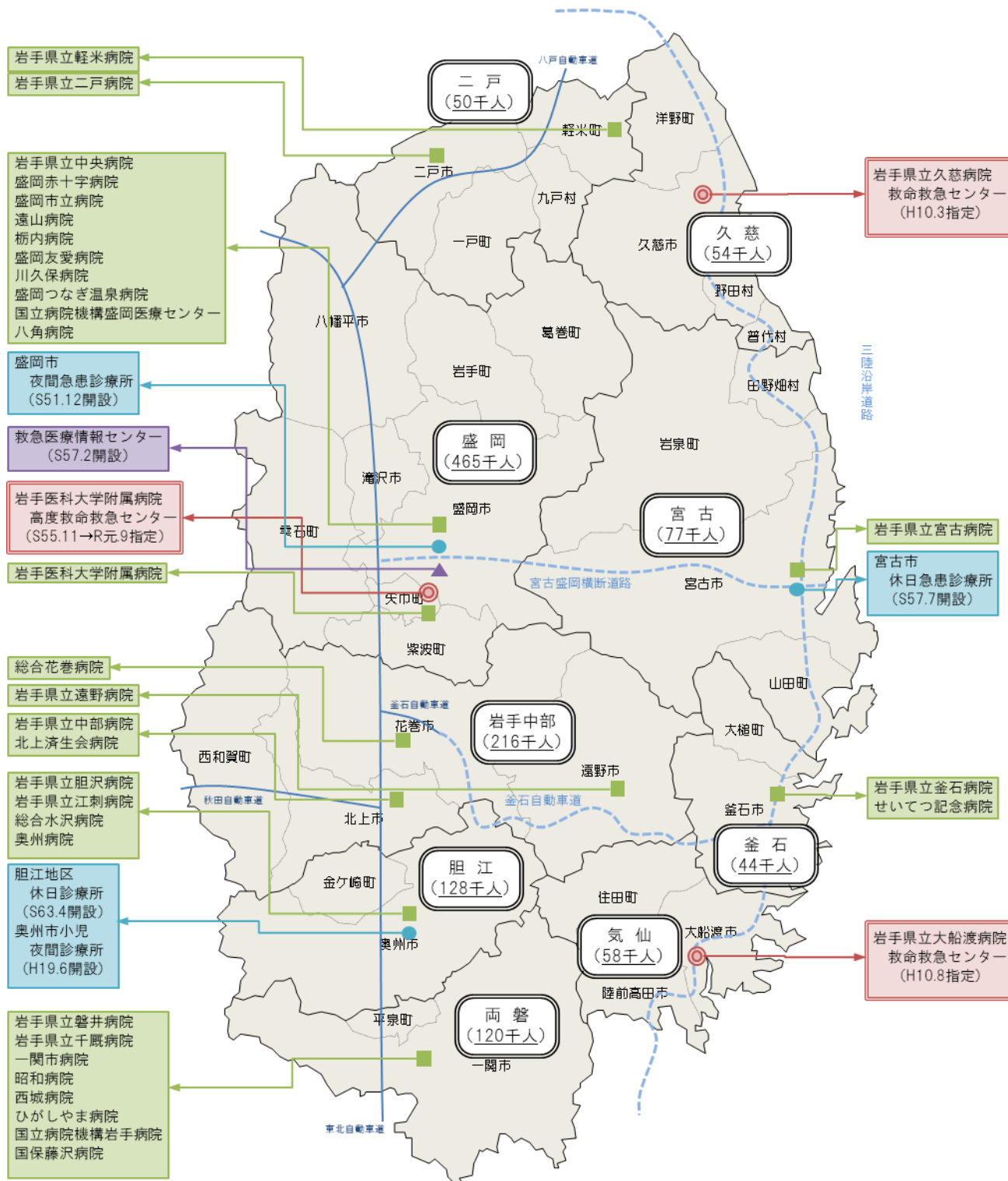
(3) 指定の要件への適合性

救急医療対策事業実施要綱に規定する救命救急センター指定の要件に適合していることを確認しているもの。

救急医療体制の状況（令和2（2020）年10月1日現在）

区分	人口 (R2.10.1現在)		初 期		第 二 次			第 三 次
	実数 (千人)	構成比 (%)	休日夜間 急患センタ ー (開設年月日)	在宅当番医制	病院群輪番制 参加施設名 (実施年月日)	小児輪番制 参加施設名 (実施年月日)	救急告示	救命救急センター (運営開始年月 日)
全県	1,212	100.0	4施設	12地区	7地区32施設	1地区5施設	47施設	3施設
盛岡	465	38.4	盛岡市 夜間急患診療 所 (S51.12.1)	盛岡市医師会 岩手西北医師会 紫波郡医師会	県立中央病院 盛岡赤十字病院 岩手医科大学附属病 院 盛岡市立病院 遠山病院 栃内病院 盛岡友愛病院 川久保病院 盛岡つなぎ温泉病院 国立病院機構 盛岡医療センター 八角病院 (S54.12.1)	県立中央病院 盛岡赤十字病院 岩手医科大学附属病 院 川久保病院 国立病院機構 盛岡医療センター (H11.4.1)	県立中央病院 盛岡赤十字病院 岩手医科大学附属病院 盛岡市立病院 遠山病院 栃内病院 高松病院 盛岡友愛病院 川久保病院 盛岡つなぎ温泉病院 八角病院 荻野病院 内丸病院 八幡平市立病院 東八幡平病院 栃内第二病院 鶯宿温泉病院 国保葛巻病院 南昌病院 滝沢中央病院	岩手医科大学附属病 院 岩手県高度救命救 急 センター (S55.11.1)
岩手 中部	216	17.8		花巻市医師会 北上医師会 遠野市医師会	県立中部病院 総合花巻病院 北上済生会病院 県立遠野病院 (S56.2.1)		県立中部病院 総合花巻病院 北上済生会病院 県立遠野病院 県立東和病院 町立西和賀さわうち病 院	
胆江	128	10.6	奥州金ヶ崎 休日診療所 (H27.4.1) 奥州金ヶ崎 夜間診療所 (H27.7.1)	奥州医師会	県立胆沢病院 県立江刺病院 奥州市総合水沢病院 奥州病院 (S54.12.1)		県立胆沢病院 県立江刺病院 奥州市総合水沢病院 奥州病院 国保まごころ病院 石川病院	
両磐	120	9.9		一関市医師会	県立磐井病院 県立千厩病院 一関病院 昭和病院 西城病院 ひがしやま病院 国保藤沢病院 国立病院機構岩手病 院 (S55.5.1)		県立磐井病院 県立千厩病院 一関病院 国保藤沢病院	県立大船渡病院 救命救急センター (H10.8.1)
気仙	58	4.8		気仙医師会			県立大船渡病院	
釜石	44	3.6		釜石医師会	県立釜石病院 せいてつ記念病院 (S56.4.1)		県立釜石病院 せいてつ記念病院	
宮古	77	6.3	宮古市 休日急患診療 所 (S57.7.4)		県立宮古病院 (S56.12.1)		県立宮古病院 済生会岩泉病院	県立久慈病院 救命救急センター (H10.3.1)
久慈	54	4.5		久慈医師会			県立久慈病院 国保種市病院	
二戸	50	4.1		二戸医師会	県立二戸病院 県立軽米病院 (S56.3.1)		県立二戸病院 県立一戸病院 県立軽米病院	

岩手県救急医療体制図（令和2（2020）年10月1日現在）



【凡例】

- ◎：第三次救急医療施設
- ：第二次救急医療施設（病院群輪番制参加病院）
- ：休日夜間急患センター
- ▲：救急医療情報センター
- ：二次保健医療圏名（人口）
- ：二次保健医療圏界
-：市町村界
- - -：復興道路・復興支援道路 ※令和3年中全線開通予定

備考）下線の病院は、小児救急医療支援事業（輪番制）実施病院です。